

図面検索時のPCを使った改善提案

改善前

現在の組み込み作業工程において、図面を開く動作を分解すると以下ようになる。

一日の最初の作業の時

- ①作業を開始するために、品質経歴書を手に取る。
- ②PDFビューワーを開く。
- ③PDFビューワーから、図面を開くためにウィンドウを開く。
- ④バーコードリーダーで「S4」を読み取る。
- ⑤バーコードリーダーで品質経歴書の図面No.を読み取る。
- ⑥開くボタンを押す。
- ⑦図面が開かれる。

また、作業完了後に「作業予定表の完了した製品にチェックを入れる」、「作業完了した製品の生産金額を集計する」等の作業が発生している。

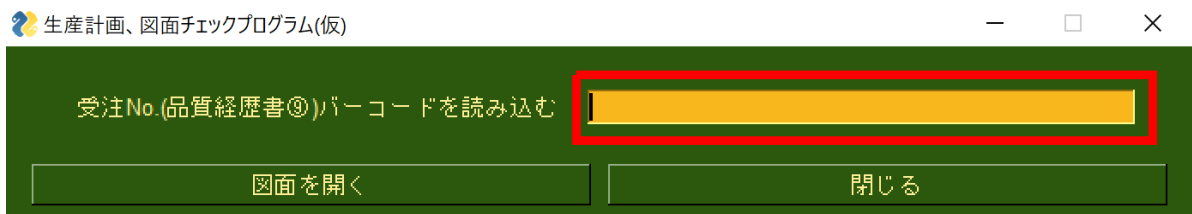
→これら作業についてPCを使った改善を提案するため、上記作業短縮するためのツール(以下、改善ツールと記述)を作成した。

改善後

予め改善ツールをスタートアップに登録して、PC電源投入時に自動で起動するようにしておく。

また、excelファイルの作業予定表をPCにコピーしておく。

- ①作業を開始するために、品質経歴書を手に取る。
- ②バーコードリーダーで品質経歴書の受注No.を読み取る。



- ③「図面を開く」ボタンを押す。



- ④図面が開かれる。

改善の効果

改善ツールを使用することによって

図面を開くまでの作業ステップを大幅に減らすことが出来る(7→4).

改善ツールでは「図面を開く」ボタンを押した際にexcelファイルへ自動でチェックを入れるので、

「作業予定表の完了した製品にチェックを入れる」作業は不要となる。

また、excel上のオートフィルタとsubtotal関数で自動で集計できるため、

「作業完了した製品の生産金額を集計する」作業は不要となる。

短縮できる時間

改善前：315sec

(図面を開く (3sec) + 作業完了製品へのチェック(30sec) + 生産金額の集計 (30sec)) x 5製品

改善後：5sec

図面を開く (1sec) x 5製品

改善前 - 改善後 = 310 sec

→ 実働253日 x 310 sec = 78430 sec 短縮